

自己評価結果（令和3年度）

| 評価項目 | 評価内訳（割合） | |
|--|----------|--------|
| | できている | できていない |
| 第2章「ねらい」及び「内容」 4. 3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容 | 75.0% | 25.0% |
| (1)「健康」 | 90.0% | 10.0% |
| (2)「人間関係」 | 81.3% | 18.8% |
| (3)「環境」 | 60.0% | 40.0% |
| (4)「言葉」 | 86.3% | 13.8% |
| (5)「表現」 | 57.5% | 42.5% |
| 第3章 健康及び安全 | 86.0% | 14.0% |
| (1)健康支援 | 82.1% | 17.9% |
| (2)食育 | 90.9% | 9.1% |
| (3)環境・衛生管理・安全管理 | 72.7% | 27.3% |
| (4)災害への備え | 46.2% | 53.8% |
| 合計 | 77.2% | 22.8% |

| 達成状況 | できていること | できるとよかったこと |
|--|--|---|
| 第2章 「ねらい」及び「内容」 (4) 3歳以上児の保育に関わる ねらい及び内容 | 毎日のサーキット活動など粗大運動を多く取り入れながら、全園児楽しく活動ができている。引き続き実施していく。 | 表現に対する値が低い。こどもの育ちの中で「表現」の役割について再度考察しなおす。また、日頃の活動やあそびの中に取り入れていけるとよい。 |
| 第3章 健康及び安全 | 裏の畑で収穫した野菜を給食やおやつでいただいています。調理する際の作業風景なども見学しながら食育に興味を持たせています。 | 災害への備えの部分の値が低い。安全管理、衛生管理と同様に、身近な活動に取り入れながら経験していけるとよい。 |

| 〈来年度取り組むべき課題及び提案〉 |
|--|
| 災害への備えに対する項目の評価が低い。毎月避難訓練などを実施しているが、動きの確認のみに感じてしまう。もう少し、危機感をもって実施することができるよう配慮していく。食育に関しては、全園児継続して実施していけるとよい。草抜きや水やりを進んでできるよう伝えていけるよう努める。表現については、地域とのかかわりもコロナ禍で実施できなかつたり、保育士の中でも「表現」を難しく考えすぎてしまう事もあり、なかなか行動に移せなかったのではないかと推察できます。以前よりも楽器などに親しむ時間も減っているので、あそびの中に落とし込みながら、表現技法や道具などを経験できるように環境を整え、友達同士で触れ合い感動体験ができるように努める。 |